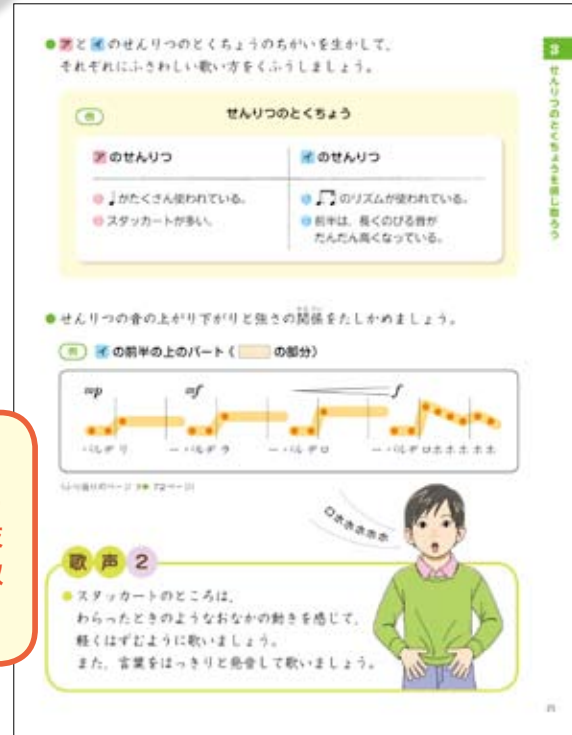


思いや意図をもって
表現する力を
育てます。

思いを
生かして
表現を
工夫する力

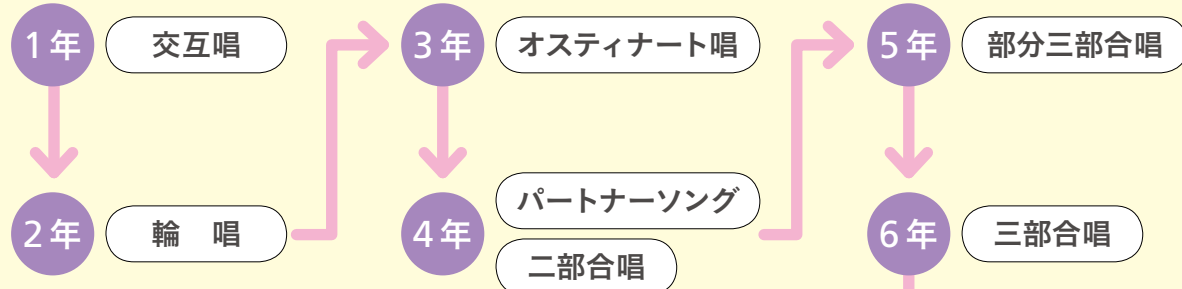
楽譜から〔共通事項〕などの情報や歌詞の内容を読み取り、それを豊かな表現の工夫へとつなげる学習を進めます。



4年 P.25

「こう歌いたい。」という
思いと、それを実現する
ために必要な歌唱の技
能について、コラムで取
り上げています。

声を合わせて
歌う力



中学校の混声合唱へ

正しい音程で
歌う力

階名唱(ドレミで歌う活
動)を繰り返し行い、「音程
感」を養います。

音の高さの違いをイ
メージして歌えるよ
うに風船のイラスト
を用いています。

魅力的な教材

音楽集会などのレパート
リーとしても活用できる曲
を多数取り上げています。



1年 P.36

日本語の
美しさを
生かして
歌う力

旋律と歌詞の関係を、表
現の工夫に生かしながら、
日本語の言葉の美しさや語
感を大切にしたい歌い方を工
夫します。



6年 P.35

〔共通事項〕の「強弱」
と「旋律」に注目して、
歌い方の工夫に結び付
けています。



5年 P.8

楽器との出会いを
大切にしています。

打楽器との
出会い

楽器の音色の楽しさや魅力にふれながら、基本的な演奏の仕方に親しめるように配慮し、音楽づくりの学習や鑑賞学習とも関連させながら取り上げています。

打楽器の演奏の
習熟を兼ねた、
音遊びの活動例

2年 P.37



旋律楽器との
出会い

鍵盤ハーモニカやリコーダーについては、段階を踏みながら分かりやすく説明しています。また、歌と合わせて演奏できる教材や、音楽づくりと関連した教材を通して、楽しみながら学んでいくことができます。



3年 P.16

楽器の演奏の仕方を、
図や写真を用いて分か
りやすく示しています。

3年 P.18



4年 P.32



3年 P.23

曲想に
ふさわしい
表現を
工夫する力

歌唱教材と同様に、楽譜から〔共通事項〕などの情報を読み取り、曲想にふさわしい表現を工夫しながら、思いや意図をもって演奏できるようにします。

友達と
音や心を
合わせて
演奏する力

高学年では、音や心を合わせてアンサンブルする力を高めるためにはどうしたらよいのかを考えるきっかけとなるよう、コラムを設けて具体的なヒントを示しています。



4年 P.22

スタッカートとレガートの
違いを生かして、演奏
の仕方を工夫します。

音を合わせよう

▶ リコーダーを何人かで演奏する場合には、自分の音やみんなの音をよくきくことが大切です。例えば、吹いた音をみんなで見えるように感じて、音を合わせてみましょう。



5年 P.13

パートの役割を考えよう

▶ パートの役割には、次のようなものがあります。

主な旋律 かざりの旋律 ひびきを豊かにする和音 ひびきを豊かにする和音

それぞれのパートの役割について考えて、演奏に生かしましょう。

6年 P.15

子どもたちが主体的に
合奏に取り組めるように
ヒントを示しています。



学習の積み重ねを
生かします。

工夫の観点が
分かりやすい

学習活動や工夫の観点が簡潔に示されているため、子どもたちが思いや意図をもって音楽をつくることができ、豊かな発想力や構成力の育成につながります。

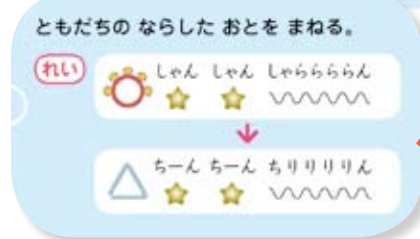


3年P.26-27

活動内容や約束事を絞り込むことにより、思いや意図をもって音楽をつくる学習に集中することができます。

学びが見える
音楽づくり

学習のねらいや作り方の手順、工夫のヒントを分かりやすく示し、さらに子どもたちの作品を例示することで、その学習において何を目指すべきかという活動の見通しを立てやすくしています。



1年P.50-51

音色

2年「かえるの音あそび」P.18-19



声による音遊びの活動を通して、素材としての声のおもしろさに気づく学習をします。

リズム

4年「言葉でリズムアンサンブル」P.16-17



言葉から生み出されるリズムの組み合わせを工夫して、リズムアンサンブルをつくります。

いろいろな
(共通事項)を
用いた
音楽づくりの
教材例

旋律

5年「音階の音で旋律づくり」P.44-45



3, 4年で行った旋律づくりと、旋律線の学習を生かしながら、日本の音階を使って旋律をつくります。

〔共通事項〕を核とした題材構成の中に配置しているため、歌唱や器楽、鑑賞の学習と関連させながら、「音楽づくり」の学習にしっかりと取り組むことができます。

主体性や創造性を育む



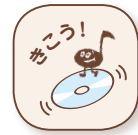
音楽づくりの系統性

「前の学年の学びが、次の学年につながる」ように、発達段階を踏まえながら音楽づくりの学習を系統的に構成しているため、学力を着実に伸ばすことができます。



*歌唱、器楽教材の中で扱う音楽づくりの学習です。

表中のア、イは、学習指導要領 A 表現(3) 音楽づくりの内容を示しています。

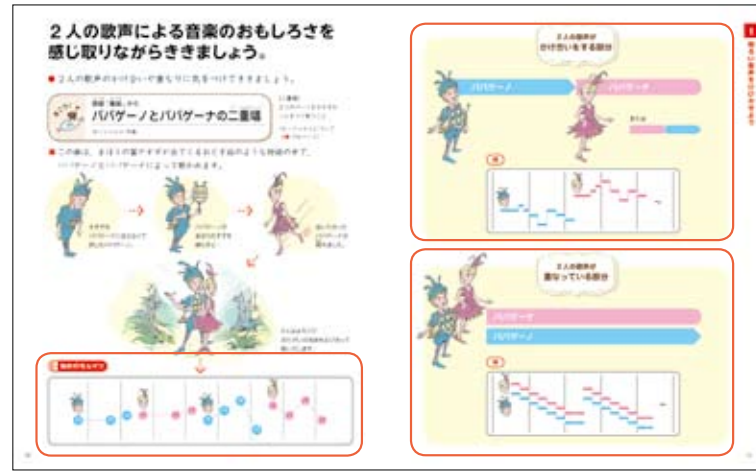


聴く目当てを
分かりやすく
示しています。

教材選択の
工夫と
取り上げ方

題材のねらいに即して選曲しているため、他教材との関連や聴く観点が明確になっています。また、演奏時間についても配慮していますので、少ない授業時間内でも繰り返し鑑賞することができます。

4年P.10・11



声の重なり方の違いに注目

3年P.50・51



表現教材と鑑賞教材の一体化

聴く目当てが分かりやすく示されているので、初めて聴く音楽でも、そのよさや美しさを友達と共有しやすくなっています。



言語活動の
充実を
図るための
工夫

譜例(絵譜)や吹き出しなどが豊富に示されているため、鑑賞学習時にそれらの音楽的な情報を取り入れることができ、言語活動の内容がより充実したものになります。

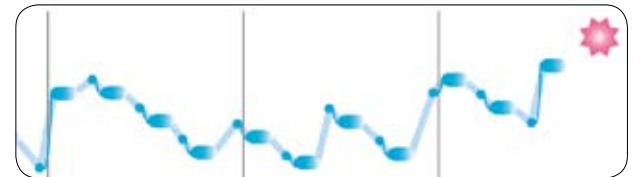


2年P.54・55

子どもたちの発言例



旋律をイメージしやすい絵譜の活用



授業に役立つ
資料ページ

3年P.66・67



4年P.66・67



5年P.68・69



6年P.66・67

音の出る仕組みに焦点
を当て、分かりやすく
示しています。